



かえでゆうびん 1月号



2025年1月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

新年 明けましておめでとうございます。2025年が皆様にとって健康で笑いのたくさんある年になりますように・・・

かえで保育園も15年目を迎えます。卒園した子どもたちも次々と成人していき、大学生になったり社会人になったりとたくさんの子もたちが巣立っていきました。いつもどんな世になっても「自分や相手を大切にできる人に育ててほしい」と思い、保育を進めてきました。人の世を変えてくれることを期待して見守りたいと思います。

かえで保育園では「のびのびとした環境で豊かな感性を育てる」「一人一人の個性を大切に」を保育理念に掲げ、揺るぐことなく子どもたちと向き合い、それぞれのステージで輝けるような保育環境を考え過ごしてきました。子どもたちの園生活はいつもどんな時も常に保育者が寄り添い、振り返れば微笑んで見守ってくれる人がいる・・・が安心に代わりいつも保護者+先生の見守りの中で育っていき「信頼すること」が根付いていきます。

保育のキーワードで示しているように「丁寧に」「ゆったりと」「見守り」幼児には「経験する」「考える」「挑戦する」でかえでの子どもたちだけでなく保護者の方々も職員も「人との関係」の中で「自分」を作っていくことができるようになります。保護者の方々も初めての子育てでわからないことばかり・・・から一つずつ体験して「親として」が育まれます。職員も子どもたちから、保護者の方々から様々なかわり方を学んでいきます。保育園の生活は『子どもまんなか』でそれぞれが自分らしく過ごせる素敵な世界です。子どもたちから広がる「人との関係」を大切にまた新たな一年を進めていきたいと思ひます。

かえで保育園では「日本の文化の伝承」や「おいしいものを食べる」ことも様々なことを学ぶ大切な経験だと考えています。園庭での焚火・育てたものを食すなど危険だから避けて通るより、正しい扱い方、どうすることが命の危険になるのかも経験を通して伝えていきます。

24日にはつぼみ組以上の子どもたちの表現することの楽しさ(歌を歌う・楽器を奏でる・皆で表現遊びをする)などの自己表現する場を披露します。この1年で出来事から出される表現遊びは子どもたちから出るイメージから動きやセリフが出てきます。

自己表現することは容易ではありません。また、園生活でもいつも良い事ばかりではありません。でも仲間励まされたり、自分で踏ん張ったり、気づいたり、そんな営みから出た自分を披露できる機会になればと思います。様々のイベント、楽しみにご参加下さい。

おねがい

- ・12月29日から1月3日まで園は休園となります。
080-9500-1997(園長携帯 ※緊急の場合のみ受付けます)
- ・**登園前の予防接種、病気のための受診後の登園は控えてください。予防接種をした後は必ず健康観察のため園にお知らせください。**
- ・1月18日(土)西宮私立保育協会主催の職員新年の集いおよび全体研修に職員が参加します。家庭保育のご協力をお願いします。

おしらせ

1月の予定

- ・12月29日～1月3日 冬季休園
- ・4日(土) お弁当日
- ・16日(木) 浜脇小学校との地域防災訓練に参加
- ・22日(水) 月例健診
- ・24日(金) かえでフェスティバル(つぼみ・幼児)
- ・28日(火) ひかり・だいち 雪あそび(六甲スノーパーク)
- ・29日(水) 誕生会
- ・30日(木) 西宮市指導監査
- ・絵画 8日(水)・27日(月)
- ・体操 9・16・30日(木) ***23日は無**

2月の予定

- ・6日(木) おもちつき
- ・14日(金) 2025年度 入園説明会
- ・18日(火) 子育て支援 アート
- ・19日(水) 全園児お弁当日(お弁当のご用意をお願いします) 幼児バス遠足(詳しくは後日お手紙配布します)
- ・27日(木) **酒蔵見学(保護者のみ)**
博物館・ミュージアム見学～ひかり・だいち
(体操はお休み)
保護者の方は酒蔵見学(2名)に参加できます。

幼児クラス懇談会

- ・2月 7日(金) ひかり組: 17:30～18:30
- ・ 25日(火) いぶき組: 17:30～18:30
- ・ 26日(水) だいち組: 17:30～18:30

先生のメッセージ

2025年のお正月いかがお過ごしでしょうか。子どもにとっては家族の方と日常とは少し違ったゆったりと過ごす時間があったりしているでしょうか。年末には家の掃除を子どもたちも手伝ったり、お正月には家族で食卓を囲み、温かいご飯を一緒に食べたりしながらお話しも弾むお休みになればと思います。特別なことをするよりもお家の方のゆったりとした気持ちや笑顔が子どもたちの成長に繋がると思っています。12月園では理事の方にたくさん採れたて野菜をいただきました。立派な大根の葉っぱはご飯のふりかけに、大根は園庭でおやつに風呂吹き大根を作りました。ふりかけは下茹でした葉を炒め、しょうゆやみりんなどで味付けしたシンプルなものでしたが、緑の野菜が苦手な子どもたちもモリモリとおいしくいただきました。風呂吹き大根は甘い味噌を用意し、園庭で火を囲みながら、おやつ時間に「フーフー」しながらパクパクと、これまたおかわりコールが次々となっていました。「苦手かな?」と思っけていても採れたて野菜のおいしさや友達がおいしく食べていたら、「おいしいに変わるマジック」は本当にすてきです。

今年もおいしく出会える機会が、たくさんあることを子どもたちと共に楽しみにしたいと思います。今年もどうぞよろしくお祈りします。 主幹保育教諭 F

明けましておめでとうございます。新しい年の始まり、年末年始はお世話になっている方々と会える機会も多く、人との繋がりを感じる季節でもありますね。そして、何度経験しても余裕を持って年を越すことが出来ず、「ああ、あれもしておきたかったな...」とやり残したこと(だいたい大掃除です)を頭の片隅に置きながら、のんびりと過ごしてしまいます。こんな時、心苦しくならない秘密の合言葉、「まあ、お正月だから」やり残したことがある方は、心の中でぜひ、呟いてみてください。

2024年も、かえで保育園では沢山のあそびが生まれました。開園当初よりかえで保育園で子どもたちと過ごさせていただいていますが、時代の流れと共にあそびや人との関わり方も、少しずつ変化しているように思ひます。また、便利な電子機器やAIの躍進に伴い、人に“伝えること”そして自分を“表現すること”がなかなか難しい世の中になっていくのでは、と危惧しています。子どもたちが乳幼児期の間に、人との繋がりの中にある温かさや、五感で感じることの楽しさ・心地よさを味わえる環境を、これから先も大切に守り続けていきたいです。

最後に、お正月におすすめの絵本を紹介ひます。幼児クラスの子どもたちお気に入りの『ないしょのオリンピック』と同様、細部にまであそび心が散りばめられた絵本『おもちのおふる』です。“しょうゆの足湯”や、“きなこの砂風呂”などが出てきます。ぷぷっと大人も笑ってしまうような仕掛けが愉快な絵本、ぜひお子さまとお楽しみください。

主幹保育教諭 K



先生からのメッセージ

あけましておめでとうございます。今年も旅行を楽しんだり子どもたちと一緒にたくさん笑って過ごしていきたいと思います。

旅行と言えば私は毎年、友人3人と旅行に行く事が恒例となっています。去年は高知へ行きました。高知といえば、桂浜、薫焼きカツオのたたき、そしてなんといっても雄大な四万十川。その四万十川でこの度メインのジップラインに挑戦しました。

ハーネスを装着し、講習を受けて対岸の高台へ送迎してもらい命綱の番号を見ると、まさかの「42」。いやいやここでこの番号使う?!と友人や一緒に待っている知らない人たちにも見せ皆で大爆笑。

震える片手にスマホをもち(動画撮影可)、震える片手でロープを握り、思い切ってエイッと飛び出すと眼下に広がる雄大な四万十川と響き渡る私の悲鳴。

着地は足または背中からと習ったはずなのになぜか横倒れで着地。クッション代わりの木くずのチップに全身まみれながら私の初ジップラインは終了しました。

あっという間の時間でしたが爽快感と達成感を感じることができました。皆さんも高知へ行かれたら挑戦してみてください。

「道の駅 四万十とおわ」で検索できます。

H先生

明けましておめでとうございます。あっという間に2025を迎え、時の流れの速さに驚いています。

突然ですが、皆さまは“推し活”をしていますでしょうか。

気持ちが落ち込んだ時や、辛い時に推しを見ると癒されたり、元気がでてきたり、生きがいになる存在が“推し”だと私は思っています。それは、芸能人やアーティストだけでなく動物、キャラクター等人によってそれぞれ推しの形がありますので、ライブに行くもよし、グッズを集めてみるもよし、ゲームをするもよし、沢山の“推し活”の形があります。

私の“推し”は歌手でそっと背中を押してくれる歌を届けてくれます。ライブに行ったり映像やテレビ番組を見ている時間が私にとっての心が潤う大切な時間、いわゆる“推し活”の時間となるわけです。特に「僕らの理由」という歌の“1回くらい挫折をしたってさ 一生が失敗なわけないだろう”という歌詞のフレーズが好きで、何度も励まされ、勇気をもらっています。落ち込んでいる時に聞くとびっくりするほどエネルギーが湧いてきます。

目まぐるしい毎日ですが、ほんのちょっとした隙間に“推し活”してみてもいいかなと思います。

K先生

保護者からのエピソード

ひかりさんになって、自分からやってみたい気持ちを先生やお友達に伝えられるようになり、この一年での成長に感動しています。先生大好き!お友達も大好き!とよく言っています。大好きな環境でこれからも色々なことにチャレンジして欲しいです。

ひかり組 ひろみさん

娘は登園時お部屋に入ることを嫌がります。毎日のことなので、正直困っています。そんなとき、お友達がお出迎えに来てくれます。降園時も、お友達が娘を呼びに行ってくれます。仲良しのお友達がたくさんできたことが嬉しいです。優しいお友達に感謝の気持ちでいっぱいです。

つぼみ組 ゆかさん

して欲しいことや嫌なことをはっきりと伝えてくれるようになりました。歌を歌ったり手遊びやダンスが大好きで、テレビで好きな歌がかかると必ず定位置に座り、一緒に歌ったり踊ったりしています。姉弟で仲良く遊ぶ姿も増えました。保育園ではお友達との関わりも増えてきているようで、お迎えに行くと微笑ましい姿が見られて心がほっこりします。

ふたば組 ゆうなさん

「こんなの描いたよ、見て見て」「保育園でハート折ったんだけど、折り方忘れたから調べて教えて」保育園で色々な物を折ったり描いたりして楽しんでいるらしい娘。

いつの間にか絵も折り紙も、とても上手になっていて、家でも楽しそうに製作に励んでいます。

ひかり組 ゆきさん

園でお友達から教えてもらった歌やピアノやダンスを家でも披露してくれます。子ども達の世界や感性に触れることができ嬉しいです。後片付けや明日の準備なども少しずつ自分からできるようになり成長を感じています。

だいち組 なつこさん

水を飲みたいお友達がたくさんいるのに、「ひやりん」のコップが二つしかない!そんなピンチに、双子が奮闘したと先生からうかがいました。双子1はコップ二つに水を入れ、ふたば組のお友達に「どうぞ」と手渡し。その間に双子2はお友達と調理室に走り、コップをたくさん持って戻って来たそうです。お世話されるばかりだった双子たちですが、幼児さんになり少し成長したのかなと、うれしい出来事でした。

いぶき組 あかね

最近は登園の道のりも楽しんでおり、「もうすぐ保育園だよ」と声をかけると笑顔になります。保育園に着くと、早くおろしてと言わんばかりに抱っこ紐から出ようとして、父には目もくれずおもちゃに一目散です。保育園が大好きなんだなと感じて嬉しくなる一方で、いってらっしゃいして欲しいなと思う父です。

めばえ組 たいきさん

12月の子どもたちのようす



どんぐりを使って転がし絵をしました。6色用意した絵の具の中から、子どもが指差した3色で描きました。どんぐりが転がる様子を面白そうに目で追いかけて楽しんでいました。



栽培しているほうれん草と小松菜を収穫しました。小松菜の葉は大きく子どもたちがちぎる経験をして、ちぎれた葉を見せる表情はとても嬉しそうでした。みそ汁に入れたり、納豆の和え物としてお昼ご飯の時に食べました。野菜が苦手な子どもも嫌がることなく、大きく口を開けて食べていました。最後は「ごちそうさまでした」と満面の笑みでした。



クリスマスのオーナメントやツリーのシール貼り、どんぐり転がしなど季節を感じる製作をしました。

出来たものを部屋に飾ると、「みてみて!」「べたべたしたね」と、満足そうに見ることも楽しんでいました。作る際は貼るものや好きな色など全て自分で選びました。個性溢れる作品には、1人ひとりの思いが沢山詰まっているようです。



園周やバス停、八百屋さんなど色々な所へお散歩に行きました。友だちと手を繋いで歩いたり、自分の足で歩く事の楽しさを感じているようで、保育園に帰ると「バスばいばいしたよ」「ててつないだよ」と嬉しそうに話す姿も見られました。散歩に行ったことからか、保育園でも最近では手を繋いで歩くのがお気に入りです。外の世界に広がる景色や植物、乗り物、人、友だちと一緒に様々な刺激を感じられるよう、あたたかい日には散歩に出かけたいと思います。



最近つぼみ組ではよく電話ごっこをして遊んでいます。積み木などの玩具を耳にあてて「もしもし」、「はい、はい」「わかりました」と言いながら楽しんでいます。普段の生活では使わない敬語を使っているところや、子どもたちの遊びの様子からよく大人のことを見ていると感じます。また、片付けの気が進まないときも電話でお願いすると、進んで片付けをする姿もありました。



先月はクリスマスがあり、子どもたちは毎日クリスマスを楽しみに過ごしていました。クリスマスの絵本を楽しんだり、サンタさんにどんなプレゼントをもらうのか友だちや保育者に話したりしながら、サンタさんが来てくれるのを楽しみにしていました。また、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌ったり、クリスマスツリー飾りをハサミや糊を使って作ったりしながら12月を楽しみました。





「大根大きくなってよ！」と毎日大根の成長を見守ったり水やりをしたりして栽培を楽しんでいます。ある日、農家の方から大きな大根が届きました。みんなで育てている大根の葉っぱと比べてみるととても長いことや、持ってみると「重いね」「大きいね」と大きさや重さにびっくりして色々な気付き発見が見られました。ご飯やおやつに大根があると「大根さんだ！」「おいしいね」と喜び合いながら食事をしています。食材への興味関心が広がればいいなと思います。



「園庭にどんぐり落ちてたよ！」と嬉しそうにどんぐりを集める子どもたち。ペットボトルにどんぐりを入れてどんぐりマラカスを作りました。友だちと顔を見合わせながら音を出すことを楽しむ姿が見られました。どんぐりマラカスで演奏したり、カスタネットや鈴などの楽器を使ったりと様々な音の違いを楽しんでいます。



「オリーブオイルっておいしいん？」「え！ぱんにつけたらおいしいねんで？」と集めたオリーブを手を持ちながら、話し込んでいます。オリーブが100粒、400粒、と集まっていくにつれ、パンの作り方についても関心が向き、調べてみることにしました。絵本「ぼくのぱん、わたしのぱん」をみながら材料を確認し、いよいよパン作りが始まります。材料を混ぜると、テラスでおひさまの力を借りて、生地を温めました。布団（タオル）を少しだけめくっては「まだかな？」「もうふくらんだ？」と何度も確認しました。いよいよ焼き上がり、食べてみると、子どもたちの愛情が沢山詰まったからでしょうか？



画用紙を半分に折り、園庭に落ちている落ち葉を観察しながら、描いた線の上を切ると、素敵な葉っぱたちが完成しました。保育者の衣服にもかえでの葉（かえでマーク）がついていることを発見。かえでの葉や、衣服のマークを観察しながら切り洋服に貼ると、かえで保育園の先生たちが沢山増えました。胸元のかえでマークを嬉しそうに何度も確認しながら、一日中過ごしていました。お友だちの名前を呼ぶ際にも「〇〇せんせい」と声を掛けたり、「つぎはなにをする？」と大張り切りな様子で、楽しんでいます。翌日も胸元にかえでマークを付け、誇らしげな表情で歩く姿がとても頼もしいです。



～交流会に行ったよ～

川添公園でゆめっこわかば保育園、スター保育園、つきの保育園の5歳児と交流会をしました。10月にも一度、交流会に参加していたこともあり、「今日とはどんな友達がいるかな」「またリレーしたいな」とドキドキよりもワクワクする気持ちが強く、前回よりも楽しむことができました。最後には同じ小学校に行く友だちと顔を合わせ、就学に向けて期待や楽しみを持つことができました。



お台所から



今年の干支は「巳」です。今回もだいち組の子どもたちが年賀状のデザインとなる絵を描きました。はじめは「かけるかな…」「むずかしいよ」と書き始めるのをためらっている様子も見られましたが、図鑑を見たり、移動動物園で触れたアオダイショウを思い出しながら丁寧に最後まで描き上げました。中には表面の模様もじっくりと観察して描く子、想像を膨らませてオリジナルの模様をしている子など、個性豊かなヘビたちが完成しました。かえでギャラリーに展示していますので、細部までゆっくり見ていただけたらと思います。



今月の食育活動

12月は白菜がたくさん献立にでてきました。そこでふたばさんに何度か白菜の葉をちぎったりむいたりしてもらいました。大きな大きな白菜にみんなびっくりした様子で白菜をちぎっては「お～」「みて～！」と嬉しそうにみせにきてくれて、何度か白菜をちぎっていくうちにみんなとっても上手になり、手慣れた様子で楽しそうにむいてくれました。



理事さんからたくさんのお野菜をいただきました。

だいこん、はくさい、ロメインレタス、かぶと美味しそうなお野菜がいっぱい！その中の一つおもしろい形をした大根を発見！みんなに見せに行くと「なんか人みたい！手があるように見える！」と楽しそうに一人ひとり眺めていました。

ふたばさんの部屋にいき、大根をもって「こんにちは！だいこんさんです」と声をかけるとみんな驚いた様子。やっぱり手に見えたのか「あくしゅ」と握ってみたり「タッチ」とハイタッチしてみたり、大根さんに興味津々でした。



寒くなり毎年恒例の『足湯』が今年もはじまりました。「寒いな…」と体をぎゅっと腕でつつみながら園庭に出ると「そろそろ足湯したいな」と桶にお湯を入れはじめます。みんなが順番に入れるようにと砂時計で時間を計るなど約束ごと子どもたちで決めています。

1人でも多くは入れるようにと「もうちょっと詰めて」と身体を寄せ合いながら「この後何して遊ぶ？」と話す姿に私も気持ちがあっさりします。食事のデザートに出るみかんを見て「みかんの皮足湯に入れてみよう」と昨年の経験を思い出しながら温かい足湯に入れることを楽しみに準備中です。



1月の献立・予定している食育活動

お正月メニューとしておせちをイメージした筑前煮や紅白なます、おやつにはおかゆを食べます。

子どもたちに七草を紹介し作る様子を見てもらいたいと思います。お楽しみに。

栄養士 H・N

1月のあそびへの思い

めばえ

新しい年になり、めばえ組の生活も残り3ヶ月となりました。夕方、外が暗くなる時間も早くなりましたが、園庭のトンネルにつけたイルミネーションが子どもたちの楽しみとなっています。外が暗くなってくると、部屋の中から外を見て「きらきら」と嬉しそうに指をさしてじーっと眺めています。寒い冬でも子どもたちは、帽子を見ると“外に行きたい”と自ら帽子と上着を手に取り外に行く準備をし始めます。着脱や食事、あそびなど様々な場面で“自分でやりたい”こうしてみたいという気持ちが強くなってきました。自分なりに考えを持って遊んでいる姿にも日々驚かされます。型落とし用に置いていたチェーンをおままごとを持ってきて「ちゅるちゅる！」と言っておいしそうに麺に見立てて遊んでいたりと、赤ちゃんの人形をぎゅーっと抱きしめたりしています。みんなの「やりたい」「おもしろい」が詰まった遊びを見守っていききたい、もっと広げていききたいと思います。

ふたば

明けましておめでとうございます。新しい1年が始まり、今年度も残り3ヶ月となりました。ふたば組では1月から新しいお友だちを迎え、15人で新年をスタートします。この1ヵ月程でぐっと気温が低くなりましたが、子どもたちは園庭で元気いっぱい好きなことを見つけて遊んでいます。友だちや保育者など周りの姿を見て刺激を受け、沢山のことを吸収している子どもたち。手を繋いでいるのを見て「ぼくも！わたしも！」と走って手を繋ぎにいたり、園庭の隅で話して笑い合っていたり、友だちと“一緒に”を楽しむことが多くなってきたように感じます。最近は遊びだけでなく、友だちや保育者の“言葉”を真似しながら会話を楽しんでいます。毎日広がっていく子どもたちの言葉の世界に、保育者も日々驚いています。「みてみて」「これなに？」「おいしいね」色んな場面で、思ったことや感じたことを一生懸命言葉で伝えようとしています。「話すってたのしい！」「伝わるって嬉しい！」そんな安心感を感じられるように、どんな時も子どもの言葉を温かく受け止めていききたいと思います。

つぼみ

あっという間に月日が経ち、新しい1年が始まりました。今年もよろしくお祈りします。寒い日が続きますが、子どもたちは寒さに負けず園庭でも元気に過ごしています。園庭に出るときに上着を着るのですが、うまく着ることができない子がいると「やってあげるね」と言って手伝っている姿が見られます。又、寒い中友だちの手を握って「おててあったかいね」「つめたいよー」と言いながら関わりを楽しんでいます。友だち同士で助け合ったり、仲良く関わったりする姿を見て成長を感じます。また、友だちとの関わりの中で思うようにいかないことも含め、たくさんの経験をしてこれからも大きくなって欲しいと思います。

いぶき

園庭で息を吐いてみると「白い息だね」と顔を見合わせて笑い合ったり、足湯をして身体を温めたりして日々「冬」を感じながら過ごしています。園庭遊びでは年下の子どもたちも遊んでいます。その中で年下の友だちが階段に上がろうとすると同じ目線になって一緒に上がったり、使いたい玩具がなく困っている姿を見て「これ使ってもいいよ」とそっと渡したりと優しい姿が見られました。その姿を見て、段々とお世話される方からいつの間にか年下の友だちを思いやる心が芽生えてきて成長を実感しました。お兄さんやお姉さんに優しくしてもらった経験があるからこそその姿だとも思います。いつも一緒に過ごしてきただいちさんと過ごせるのも残り3か月です。毎日お世話してくれたことや優しくしてくれたことを子どもたちと振り返りながら一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

ひかり

あけましておめでとうございます。今年度も残り3か月となりました。12月、園庭に落ちているオリーブを拾ったことから始まったオリーブオイル作り。初めは「これはぶどう？」と、オリーブの存在を知らなかった子どもたちも、今では誇らしげに「このオリーブは5番だよ」「もっとふかいいろでないと」と今ではオリーブ博士になっています。沢山のオリーブ博士たちが毎朝オリーブを摘んでくれたお陰で、オリーブは400粒以上集めることができました。実際にオリーブオイルを作ってみると、絵本や図鑑で見たような透明な色にはならず、紫色のオイルができましたが、「もういちどつくる？」「あしたもやってみよう」と子どもたちの前向きさや、何度も挑戦する姿に、オイル作りを通じて、子どもたちの沢山の成長を感じました。これからも子どもたちの興味や好きなことを一緒に楽しみながら、遊びを深めていきたいです。

だいち

園での生活もあと3ヶ月と思うと、担任としては少し寂しい気持ちにもなってしまいますが、子どもたちは「小学校に行ったら〇〇したいな」「ランドセルは〇色なんだ」と就学に向けて期待を持っている姿が見られます。楽しみな気持ちがどんどん膨らんでいくように、近隣の保育園との交流や、小学校との交流等、就学が楽しみになるような環境を作っていきます。さて、24日は子どもたちが楽しみにしているかえでフェスティバルがあります。お昼の“だいち会議”では劇遊びを子ども達と相談しながらストーリーを作っています。「こうしたらどう？」「〇〇ちゃんの言い方、いいね！」などと工夫したり、友だち同士で褒め合ったりしていい作品を作ろうと一丸となって取り組んでいますので、お楽しみに！

はまかせ

朝夕の気温がより下がり冬らしい冷たい風を感じる季節になりました。子どもたちは築山から「鬼ごっこする人～集まって」と呼びかけたり、「今日は3周ね」と園庭を走ったりと、それぞれに身体を温める方法を工夫しながら遊びはじめています。大縄跳びや短縄では1回跳べるようになるまで5回、次は10回と回数が増える楽しさともっと跳べるようにと目標を決めて取り組んでいます。幼児が遊んでいる姿をじっと近くで見ているふたば組やつぼみ組の子に「一緒にやってみる？」「こっちおいで」と遊び方を教えてあげようとしていたり、めばえ組の子には「〇〇ちゃん、おはよう」と目をあわせて優しく声をかける姿が見られます。